※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	１単位	年次	２年後期
使用教科書	詳述　公共　（実教出版）						
副教材等	ズームアップ　公共資料　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「法律」「政治」「経済」それぞれの分野における自立した主体としての意識を育むことができる内容である。
・基礎的・基本的事項は，資料・図版などとともに，教科書に詳しく、深く記述されている。
・主体的・対話的で深い学びや課題探究学習などの学習活動を、単元ごとに行う。また，web 参照資料，原典資料や判例，グラフや図版などを，主体的な学習に活用していく。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　公民の基礎的な知識や技能を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
　公民に関するさまざまな問題について主体的に考え、解決方法を考察することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
　他者との議論において違った意見にも耳をかたむけ、様々な観点を取り入れて思考を深め、自らの意見を発表することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・国際政治や国際経済の基本的なしくみや問題点について理解している。 ・諸資料から必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	・国際政治や国際経済の諸課題の解決に向けて、選択や判断の手掛かりとなる考え方や資料を集め、多面的、多角的に考察することができる。	・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的、積極的に解決しようとする。 ・多面的、多角的な視野をもち、現代社会に生きる人間としての在り方や生き方について主体的に考えることができる。

上に示す観点に基づいて、評価し、学年末に５段階の評定とする。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	経済	・現代の経済社会 ・経済活動のあり方と国民福祉	a：様々な経済活動の仕組みや実態について知り、それが豊かな経済社会の形成に向けてどのように機能するのかを理解する。 ｂ：経済活動の基本的な学習を通して、社会の一員としての在り方、それぞれの経済活動の意義について協議し発表できる。 ｃ：個々の経済活動や仕組みを自ら積極的に調べ、それが社会の発展や人々の幸福にどのように結びつているのか主体的に学習し、自分の考えとしてまとめることができる。	グループ協議、発表用紙、ワークシート	グループ協議、発表用紙、ワークシート	グループ協議、発表用紙、ワークシート
	国際・持続可能な社会づくり	・国際政治の動向と課題 ・国際経済の動向と課題	a：国際政治、国際経済の基本的な原理を理解し、その意義や課題を考察し理解する。 ｂ：日本が世界の政治や経済とどのようにかかわり国際社会にどのように貢献していくのかを考察する。 ｃ：世界各地で生じている政治問題や経済問題を自ら積極的に調べ、その解決方法を考え、自らの意見としてまとめることができる。	考査、グループ協議における発表	考査、グループ協議における発表	グループ協議における発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度